長久手温泉は見せかけの黒字ではないのか!

長久手温泉は福祉の家の中に作られていて建設当初は近隣に温浴施設がなかったので入泉者も多く順調な経営でしたが、近隣に大規模な温浴施設が増えてきたことから温泉の経営が赤字となってきていました。一方で産直施設あぐりん村は生産者のご努力もあり、これまで順調な経営が続いています。議会としては、特に温泉部門の経営を問題視してきていて、7 年前の指定管理更新時に修正案が可決され契約期間を縮めてその経営に改善を求めました。その 3 年後の更新時には経営改善が依然として認められず、入湯税を免除したことから多額の損失が生じ得ることなども問題視して教育福祉委員会では否決となり本会議においても僅差で可決となった経緯があります。この入湯税は当時で年間5500万円ほどの歳入がありました。よって、この分が実質的な値上がりとなったことにより年間5500万円の利益が約束されたことになります。しかしながらこの4年間での温泉部門の内部留保は1年分の金額しかありませんでした。これは実質的に約1億6500万円の赤字ではないか。このままの状況を放置すれば温泉部門は赤字を重ねていくばかりです。温泉部門を切り離し、指定管理者を公募し民間に運営を委ね温泉の可能性を見ていきたいと思い、本契約案件に反対としました。結果としては随意契約での更新となりましたが、一度民間の経営に委ねるべきと考えます。このことは温泉の大規模な改修を迎える際の市の経費負担の軽減につながりますので、これ以上の先送りは看過できません。

小中学校のエアコンは7月からの稼働を目指します

エアコンは都市ガスヒートポンプ方式を採用しました。設置のコストはかかりますがランニングコストが経済的です。また猛暑が来たとしても安心して学校に通ってもらえそうです。多くの市民の皆さんが暑い中、署名にまわっていただいたおかげです。市民パワーに感謝いたします。

みなさんの抱える日々の暮らしの中での**疑問やお願い、困り事**を聞かせて下さい。

発行者：**佐野 尚人** 〒480-1114 愛知県長久手市長配1丁目707番地の2
nagakute@sano-naoto.com ☎ 0561-61-2085

NAOTALK 最新情報を随時更新中!!
HP www.sano-naoto.com
Twitter @nagakutenaotalk

※この活動報告は、政務活動費の一部を使用しています。

新たな長久手のために

NAOTALK

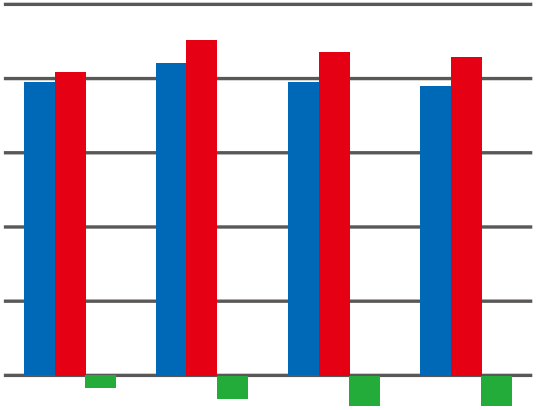
長久手市議会議員 **佐野尚人** 議会活動報告

長久手グローバルネット

平成30年度役職
愛知中部水道企業団組合議会議長（長久手、日進、豊明、みよし、東郷で構成）

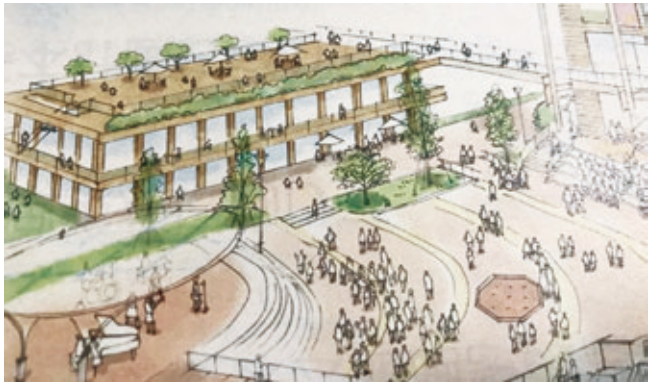
長久手市は来年度から赤字財政! 事業費の圧縮は実行できるか!

平成 34 年度までの中期財政計画の見込みで来年度から赤字の財政運営となります。グラフの通り来年度は約 7 億円の赤字、平成 34 年度の赤字は約 20 億円にまでなります。地域共生ステーションやリニモテラスなどの公共施設整備、人口増による行政需要の増加などに起因すると思われます。また、吉田市政となってからの様々な新規事業も大きな要因と考えます。地域共生ステーションは当初の起案時の予算額は 1 か所につき 1 千万円でしたが、最初の西小校区共生ステーションから事業費は膨れ上がり、現状で 1 か所でおおむね 700 平米、億を超える事業費となっています。またコミュニティ団体への助成金も年々増加していますが、これらの事業は既存の長期計画にはない事業で財源が確保され始まったわけではありません。したがって一般会計からひねり出すか、基金を取り崩すことになります。共生ステーション事業に対しても最初から膨大な事業費になっていくことを懸念し、一般質問で市全体の候補地をおおむね定め、財政計画をたててから 1 か所目の整備に着手すべきとの指摘をしてきました。このままの市政運営を続ければ将来世代に過度な負担を残すことになってしまいます。



H31(2019) 見込	H32(2020) 見込	H33(2021) 見込	H34(2022) 見込
19,709,715	21,068,430	19,892,883	19,613,820
20,405,004	22,532,235	21,755,872	21,572,361
△695,289	△1,463,805	△1,862,989	△1,958,541

事業費圧縮を検討すべき今後の公共施設整備事業



リニモテラス

第５次総合計画において計画されたもので、古戦場公園駅前にリニモ沿線の賑わいを創出すべく計画されたものであるが、イオン等の民間商業施設で十分な賑わいが作られており、さらなる公共施設の整備の必要性は考えられない。吉田市長によって計画の延長と市民からの意見広聴が行われたが、施設そのものの必要性をひねり出しているかは否めず、赤字財政に陥る状況では多額な投資をしての整備は認められない。

整備計画の大幅な縮小または中止を求めていきます。

古民家保存事業

市内に現存する古民家を保存しようと計画しています。もともとは古戦場公園に昔の暮らしを体験する場としてこの古民家を移築する予定でしたが移築する経費が高額になることが判明したため現場での保存展示に切り替えたものです。古戦場公園のなかでの活用ならば様々な方法が考えられるところですが、単独での保存展示では費用対効果として必要性も薄く、今後のランニングコストを考慮すれば保存そのものの中止も検討すべきでしょう。

保存計画そのものの中止を速やかに決断すべきだと考えます。

古戦場公園再整備

古戦場公園の展示資料施設が老朽化のため再整備する必要があります。現状の展示施設や弓道場を再整備するほかに前述の古民家保存計画のもとになった歴史民俗体験ゾーンが計画されています。歴史的にも重要な「小牧・長久手の戦い」を紹介し、現存する史跡を保存していくことは重要なことですが、それ以上の機能が必ずしも必要とは思えません。

VR技術を活用した歴史的野戦を紹介する展示施設と弓道場のみ整備し、史跡を保存する公園として原点に戻って検討すべきです。

このほかにもスポーツ施設を再整備するスポーツターミナル構想に基づいたスポーツの杜や杁ヶ池体育館の再整備事業、地域共生ステーション事業、上郷保育園等複合施設整備、福祉の家改修事業、そして小中学校の増築や改修、エアコン整備など市民の暮らしに密着した整備事業もたくさん控えています。また市役所庁舎の建て替えも計画されています。このまま漫然とこれらの事業を実施していけば長久手市は破綻してしまいます。事業費の圧縮を検討するとともに、新たな財源を作り出すことも重要な課題です。2022年に開業するジブリパーク。先の議会で提案しましたが、この愛知県のビッグプロジェクトに地元自治体として主体性を持って関わっていき、ジブリパークに来場される世界中からのお客様に長久手の魅力を発信できる大きなチャンスです。市を挙げての連携が重要なカギになっていくと考えます。」